

# 第6回 技術開発フォーラム

## — 自己修復性材料開発の最前線 —

主催 日本化学会産学交流委員会

会期 平成24年11月16日(金) 13時00分～18時00分

会場 化学会館 601会議室(東京都千代田区神田駿河台1-5)

[交通]JR 御茶ノ水駅、千代田線 新御茶ノ水駅徒歩5分

募集人員 50名

内容 傷がついても自然に治癒してしまう材料—こんな夢のような材料の開発が実現し始めています。塗料や皮膜といった分野において既に実用化され、それに続いて様々なメカニズムに基づく新規材料の開発が進められています。本技術開発フォーラムでは、高分子材料など種々の自己修復性材料開発の最前線について産学官の講師からご紹介をいただき、議論することを目指します。

講演 基調講演 60分、個別技術紹介 30分(いずれも質疑応答や実演時間を含む)

13:00-13:05 開会挨拶 (東大/懇話会企画小委員長) 火原 彰秀

13:05-14:05 1. 【基調講演】安全の維持から生活を快適にする自己修復材料へ  
(物質・材料研究機構) 新谷 紀雄

14:05-14:35 2. 自己治癒性セラミックスの開発と評価 (横国大院工) 高橋 宏治

14:35-15:05 3. 自発的に組み換わる共有結合を利用した完全自己修復性高分子材料の開発  
(九大先導物質研) 大塚 英幸

15:05-15:15 —休憩—

15:15-15:45 4. ポリウレタン系自己修復塗料用樹脂~ポリイソシアネートによる性能付与~  
(日本ポリウレタン工業) 長岡 毅

15:45-16:15 5. 超分子ネットワークを利用した修復性高分子(仮)  
(アドバンスト・ソフトマテリアルズ/東大・教授) 伊藤 耕三

16:15-16:45 6. 動的結合を利用した修復性高分子材料 —修復性と分子運動性—  
(東大生産技術研) 吉江 尚子

16:45-18:00 交流会

参加費 R&D 懇話会会員・同法人会員 6,000円 (R&D 懇話会無料参加券が利用できます)。

日本化学会会員・法人会員 8,000円、一般 10,000円。

参加申込方法 「11/16 技術開発フォーラム出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・e-mail・R&D 懇話会会員/日本化学会会員/一般の別を明記のうえ、申込先あて e-mail (sangaku@chemistry.or.jp) にてお申込みください。なお、R&D 懇話会の会員を募集してまいります。詳細は下記へお問い合わせ下さい。

申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 日本化学会企画部 担当:松原・坂下

電話 03-3292-6163、E-mail:sangaku@chemistry.or.jp